



平成 30 年度 京都大学防災研究所 研究発表講演会 プログラム

開催日：2019 年 2 月 19 日（火）～ 20 日（水）

場 所：京都大学宇治キャンパス（宇治市五ヶ庄）

JR 奈良線黄檗駅から徒歩約 5 分 京阪宇治線黄檗駅から徒歩約 6 分

Website：http://www.dpri.kyoto-u.ac.jp/hapyo/19/index.html

※各発表の要旨 PDF が掲載されています。

入場無料



2 月 19 日（火）

所長挨拶	きはだホール（宇治おうばくプラザ）	9：30 ～ 9：35
DPRI Award 授賞式	きはだホール（宇治おうばくプラザ）	9：35 ～ 9：45
受賞記念講演	きはだホール（宇治おうばくプラザ）	9：45 ～ 10：45
災害調査報告	きはだホール（宇治おうばくプラザ）	11：00 ～ 14：00

※ 9：30 ～ 14：00 ライブ配信します。配信サイト：https://www.youtube.com/watch?v=HNVS_r5l2IU

一般講演		14：15 ～ 19：00
ポスターセッション	ハイブリッドスペース（宇治おうばくプラザ）	9：30 ～ 19：00

2 月 20 日（水）

一般講演		9：15 ～ 12：00
ポスターセッション・コアタイム	ハイブリッドスペース（宇治おうばくプラザ）	12：00 ～ 14：00
一般講演・オーガナイズドセッション		14：00 ～ 17：15
ポスターセッション	ハイブリッドスペース（宇治おうばくプラザ）	9：15 ～ 15：00
優秀発表賞授賞式・懇親会	宇治生協会館	18：00 ～ 20：00

一般講演・オーガナイズドセッション会場

	A 会場 きはだホール （宇治おうばくプラザ）	B 会場 セミナー室 1+2 （宇治おうばくプラザ）	C 会場 セミナー室 4+5 （宇治おうばくプラザ）	D 会場 セミナー室 （木質ホール）	E 会場 S-519D （宇治地区研究所本館）
19 日（火） 午後 14:15 ～ 19：00	西日本豪雨・台風 21 号 P.3	地震・火山（Ⅰ） P.7	大気・水（Ⅱ） P.10	地盤（Ⅰ） P.13	火山と航空 P.16
	大気・水（Ⅰ） P.4				総合防災（Ⅰ） P.17
20 日（水） 午前 9:15 ～ 12：00	大阪北部地震・北海道胆振地震 P.5	大気・水（Ⅲ） P.8	大気・水（Ⅳ） P.11	地盤（Ⅱ） P.14	総合防災（Ⅱ） P.18
	地震・火山（Ⅱ） P.5				
20 日（水） 午後 14:00 ～ 17：15	地震・火山（Ⅲ） P.6	大気・水（Ⅴ） P.9	大気・水（Ⅵ） P.12	地盤（Ⅲ） P.15 オーガナイズドセッション 〈拠点間連携共同研究〉 P.15	総合防災（Ⅲ） P.19

※会場案内図は 25 ページをご覧ください。

所長挨拶・DPRI Award 授賞式・受賞記念講演 2月19日(火) 9:30～10:45	きはだホール
---	--------

9:30 所長挨拶

防災研究所長 中川一

9:45 受賞記念講演

Seismic Hazard Analyses in Three Decades
of Research with Special Emphasis on the
Importance of Quantitative Strong Motion
Predictions

この30年間に渡る地震ハザード解析に関する研
究 一特に定量的強震動予測の重要性に着目して

Prof. John G. ANDERSON

9:35 DPRI Award 授賞式

受賞者

Prof. John G. ANDERSON

ジョン・G・アンダーソン 教授

Nevada Seismological Laboratory, University
of Nevada

ネバダ大学リノ校 ネバダ地震学研究室

災害調査報告 2月19日(火) 11:00～14:00	きはだホール
--------------------------------	--------

11:00

平成30年7月豪雨の特性と地球温暖化

教授 中北英一

13:00

平成30年台風第21号による強風・高
潮災害について

教授 丸山敬

11:20

平成30年7月豪雨時に広島で発生した
土砂災害

准教授 竹林洋史

13:20

平成30年大阪府北部の地震の概要と被
害の特徴

教授 松島信一

11:40

平成30年7月豪雨時のダム洪水調節
操作と今後の課題

教授 角哲也

13:40

平成30年北海道胆振東部地震による土
砂災害の特徴

准教授 王功輝

<休憩>

一般講演……西日本豪雨・台風 21 号 2 月 19 日(火) 14:15 ~ 17:00	A 会場 きはだホール
--	----------------

14:15 A01 局地スケールでの豪雨・暴風の数値解析：平成 30 年 7 月豪雨と台風 21 号 ○竹見哲也・吉田敏哉・山崎聖太・長谷健太郎	16:15 A08 * Influence of Gates Closure on the Flood Inundation Scale of July 2018 in Oe Town. ○Herman MUSUMARI・Hajime NAKAGAWA・Kenji KAWAIKE・Rocky TALCHABHADEL	A 会場 19 日 午後
14:30 A02 平成 30 年 7 月豪雨に対する台風第 7 号の予想進路の影響 榎本剛	16:30 A09 亀岡盆地の氾濫解析に基づく日吉ダムの治水操作手法の検討 ○竹門康弘・岩本麻紀・野原大督・角哲也	B 会場
14:45 A03 * 2018 年 7 月豪雨の異常さと地球温暖化による影響評価 ○小坂田ゆかり・中北英一	16:45 A10 平成 30 年 7 月豪雨災害を踏まえた超過洪水時のダム治水操作手法の検討 ○野原大督・竹門康弘・角哲也	C 会場
15:00 A04 2018 年 7 月豪雨の総観場予測可能性 吉田聡		
15:15 A05 西日本全体を対象にした平成 30 年 7 月豪雨の降雨流出解析 ○佐山敬洋・近者敦彦・寶馨・角哲也		D 会場
<休 憩>		
15:45 A06 2018 年 7 月に広島市安芸区矢野東で発生した土砂災害の特徴 ○竹林洋史・藤田正治		E 会場
16:00 A07 西日本豪雨における宍粟市の流木被害 ○岡本隆明・山上路生・角哲也・佐山敬洋		ポスターセッション

(注) 名前の前の○は発表者を、発表番号右上の*は、優秀発表賞対象者を示します。

A 会場 19 日 午後	一般講演……大気・水（I） 2月19日（火） 17:15～19:00		A 会場 きはだホール
	17:15 A11 * ひまわり8号で観測された地表面温度の日 変化パターンと大阪の都市構造との関係 ○山本雄平・石川裕彦		
B 会場	17:30 A12 * RDCA Index Based Updraft Area and Its Verification Using Polarimetric Doppler Radar ○Wendi HARJUPA・Eiichi NAKAKITA・ Yasuhiko SUMIDA・Aritoshi MASUDA		
C 会場	17:45 A13 * 積乱雲発達初期段階の雲情報データ同化によ るゲリラ豪雨予測 山口弘誠・○上嶋一樹・堀池洋祐・中北英一		
	18:00 A14 VLF 帯空電観測を用いた世界的落雷位置標 定ネットワークの構築による災害防止 ○成田知巳・石川裕彦		
D 会場	18:15 A15 * 高解像度放射対流平衡実験における積雲アン サンプルの統計的性質 ○柳瀬友朗・竹見哲也		
E 会場	18:30 A16 * El Niño 時の冬季極東域における寒暖に対応 する中高緯度大気の応答 ○塩崎公大・榎本剛・高谷康太郎		
	18:45 A17 * 低緯度におけるハリケーン Pali（2016）発 達過程の特徴 ○吉岡大秋・榎本剛		
ポ ス タ ー セ ッ シ ョ ン			

（注）名前の前の○は発表者を、発表番号右上の*は、優秀発表賞対象者を示します。

一般講演……大阪北部地震・北海道胆振東部地震 2月20日(水) 9:15～10:45	A 会場 きはだホール
---	----------------

9:15 A18 2018年大阪府北部の地震による大阪平野の地震動のシミュレーション ○関口春子・岩田知孝・浅野公之	10:00 A21 SARが見えたもの見えなかったもの：大阪北部地震と北海道胆振東部地震 橋本学
9:30 A19 2018年大阪府北部地震の強震観測 ○岩田知孝・浅野公之	10:15 A22 2018年北海道胆振東部地震によって膨大な数の斜面崩壊が発生した理由：降下火砕物の分布，風化，斜面下部切断 ○千木良雅弘・田近淳・石丸聡・鈴木毅彦
9:45 A20 2018年北海道胆振東部地震の震源過程と強震動 ○浅野公之・岩田知孝	10:30 A23 * 文化財被害を指標とした歴史地震の震度評価法の検討 ○大邑潤三・加納靖之

一般講演……地震・火山（Ⅱ） 2月20日(水) 11:00～12:00	A 会場 きはだホール
--	----------------

11:00 A24 * The Volcanic Ash Parameters Estimation and Visualization Based on a Small X-band Dual-polarization Doppler Weather Radar Data ○Magfira SYARIFUDDIN・Masayuki MAKI・Satoru OISHI・Ahmad LUKMAN・Haruhisa NAKAMICHI・Masato IGUCHI	11:30 A26 * 火山灰輸送シミュレーションを用いた桜島における大規模火山噴火時の降灰リスク分析 ○近藤一飛・多々納裕一・井口正人・田中博
11:15 A25 * Experimental Ash Hazard Forecasting at Sakurajima Volcano, Japan ○Alexandros P. POULIDIS・Tetsuya TAKEMI・Masato IGUCHI	11:45 A27 * 震源分布と発震機構からみた2015年8月の桜島におけるダイク貫入過程 ○小池碧・中道治久・大見士朗・井口正人

(注) 名前の前の○は発表者を、発表番号右上の*は、優秀発表賞対象者を示します。

A 会場 20 日 午後	一般講演……地震・火山（Ⅲ） 2月20日（水）14：00～17：00	A 会場 きはだホール
	14：00 A28 2015年ネパールゴルカ地震の余震の自動震源決定 ○山田真澄・Thakur KANDEL・溜渕功史 14：15 A29 山陰地方の地震帯の応力場 ○飯尾能久・地殻ダイナミクスプロジェクト 14：30 A30 ニュージーランド・ヒクラング沈み込み帯に発生するスロースリップイベント 西村卓也 14：45 A31 地殻変動における応力の履歴に依存して発現する塑性歪みについて ○深畑幸俊・Angela MENESES-GUTIERREZ・鷺谷威・水戸川司・西村卓也 15：00 A32 マルチ GNSS 姿勢決定と GNSS 回転地震学 ○徐培亮・Yuanming SHU・Xiaoji NIU・Jingnan LIU・Wanqiang YAO・Qijin CHEN	15：30 A33 2018年6月16日桜島南岳の噴火に伴う火砕流について ○為栗健・井口正人・真木雅之・下村誠・中道治久・味喜大介 15：45 A34 桜島大正噴火の前駆地震と桜島地震について 中道治久 16：00 A35 桜島火山における相対重力の繰り返し測定および連続観測（2018年度） ○風間卓仁・山本圭吾・大島弘光・岡田和見・大柳諒・園田忠臣・井口正人
C 会場		16：15 A36 マグマ貫入速度による桜島火山における噴火事象分岐論理 ○井口正人・為栗健・平林順一・中道治久
D 会場		16：30 A37 2018年11月から12月にかけての焼岳火山近傍の地震活動について 大見士朗
	<休 憩>	16：45 A38 ドローンを活用した火山観測技術の適用 ○佐々木寛介・志村智也・辻本浩史・井上実・井口正人
E 会場		

（注）名前の前の○は発表者を、発表番号右上の＊は、優秀発表賞対象者を示します。

一般講演……地震・火山（Ⅰ）
2月19日（火）14：15～19：00

B 会場
セミナー室1+2

14：15 B01 *

メキシコでの地震・津波防災教育の実践
ー教育カリキュラムの日墨比較を通したカル
チュラル・チューニングー
○岩堀卓弥・中野元太・矢守克也

14：30 B02 *

Multi-Damage State Rehabilitation of Steel
Moment-Resisting Frame with Minimal
Disturbance Arm Damper
○Giuseppe MARZANO・
Konstantinos SKALOMENOS・Masahiro KURATA

14：45 B03 *

Smart Retrofitting of Steel Irregular
Connections in Traditional-style Buildings
Liangjie QI

15：00 B04

微動計測に基づく建物の多自由度系地震応答
推定モデル
○池田芳樹・倉田真宏

15：15 B05 *

粒状体のせん断抵抗速度依存性に関する数値
解析的検討
○竹本幸士郎・澤田純男・後藤浩之

<休 憩>

15：45 B06 *

微動観測記録に基づく横手盆地の推定地盤構
造の増幅特性評価
○佐藤啓太・松島信一・松下隼人・増田竣介・吾妻崇・
野澤貴

16：00 B07 *

盆地端部における段差構造の形状がエッジ効
果の特性に与える影響に関する研究
○浜辺亮太・松島信一・吾妻崇・
De Martin FLORENT

16：15 B08

八代平野における微動水平上下スペクトル比
とその方位依存性から推定される盆地構造
○松島信一・澤昭吾・佐藤啓太

16：30 B09 *

Microtremor Observation at Damaged Areas by
the 2018 Hokkaido Eastern Iburi Earthquake
○Ting YE・Hayato MATSUSHITA・
Ryota HAMABE・Shinichi MATSUSHIMA

16：45 B10 *

Long-period Ground Motions from Past and
Virtual Megathrust Earthquakes along the
Nankai Trough, Japan
○Loic VIENS・Marine DENOLLE

<休 憩>

17：15 B11 *

ヤンゴン市における推定三次元地盤構造と震
源の不確実性を考慮した強震動予測
○松下隼人・松島信一

17：30 B12

粘弾性媒質中での地震サイクルシミュレー
ション手法の開発 ー粘弾性 vs 摩擦特性ー
三宅雄紀・○野田博之

17：45 B13 *

深層学習を用いた P 波初動の極性検出
○原将太・深畑幸俊・飯尾能久

18：00 B14 *

広帯域レシーバ関数解析による西南日本スロー
地震発生域における地震学的構造変化の検出
○佐脇泰典・伊藤喜宏・太田和晃・澁谷拓郎・岩田知孝

18：15 B15 *

Doublet Earthquake Triggering for the April
2014 Events in the Solomon Islands
○Calvin QWANA・Masatoshi MIYAZAWA・Jim MORI

18：30 B16

岩石破壊実験での地震波速度のモニタリング
片山郁夫

18：45 B17 *

GNSS データを用いた東海地方スロース
リップイベントの時空間発展の推定
○坂上啓・西村卓也・福田淳一・加藤照之

A
会場B
会場19
日
午後C
会場D
会場E
会場ポ
ス
タ
ー
セ
ッ
シ
ョ
ン

(注) 名前の前の○は発表者を、発表番号右上の*は、優秀発表賞対象者を示します。

A 会場	一般講演……大気・水（Ⅲ） 2月20日（水）9：15～12：00		B 会場 セミナー室1＋2	
	9：15 B18＊ 飛散物の空力特性に関する直接計測と風洞実験との比較 ○松居健人・丸山敬・西村宏昭・野田博	10：45 B23＊ 都市気象 LES モデルを用いた渦管形成とその起源となる熱的上昇流の解析 山口弘誠・○土橋知紘・中北英一		
B 会場 20日午前	9：30 B19＊ 風洞実験によるネットハウスの空力特性の評価 ○根本浩明・丸山敬	11：00 B24＊ 分布型流出モデルへの適用を目的とした基岩浸透モデルの開発 ○菅原快斗・佐山敬洋・寶馨		
	9：45 B20＊ 床下の通風空間に着目した風洞実験による高床式建築物の空力特性評価 ○奥田博貴・西嶋一欽	11：15 B25＊ リアルタイム洪水予測に向けた分布型水文モデルの河川水位データ同化 ○三宅慎太郎・佐山敬洋・山本浩大・寶馨		
C 会場	10：00 B21＊ 竜巻を捉えたドライブレコーダの映像を用いた竜巻中の飛散物の速度推定 ○岩崎弘高・西嶋一欽	11：30 B26＊ MRI-AGCM における地表面パラメータ設定に対する流出量計算への影響分析 小島冴人・○萬和明・田中智大・キムスンミン・市川温・立川康人		
	10：15 B22＊ 大気乱流による運動量輸送過程に及ぼす都市構造物群の建物高さのばらつきによる影響 ○吉田敏哉・竹見哲也	11：45 B27＊ 山岳地帯における気象強制力の誤差が雪氷融解量計算に及ぼす影響 ○平岡ちひろ・田中賢治・田中茂信		
D 会場	<休 憩>			
E 会場				
ポスターセッション				

（注）名前の前の○は発表者を、発表番号右上の＊は、優秀発表賞対象者を示します。

一般講演……大気・水（V） 2月20日（水）14：00～17：15	B会場 セミナー室1+2
--------------------------------------	-----------------

14：00 B28 *

強風と地震動による作用を受ける免震建物の
疲労損傷に対する設計手法

○団栗直希・西嶋一欽・佐藤大樹

14：15 B29 *

過去の統計データに基づく高知県南国市にお
ける木造戸建住宅の棟数および築年数分布の
将来予測

○河野祐哉・西嶋一欽

14：30 B30 *

開発途上国におけるトタン屋根被害に着目し
た屋根緊結部改善策の費用対効果

○三浦史樹・西嶋一欽

14：45 B31 *

Climate Change Impact on Precipitations
Associated with Typhoons Nancy and Jebi
over Western Japan

○Sridhara NAYAK・Tetsuya TAKEMI

15：00 B32 *

時空間スケールと強度の関係に基づく豪雨シ
ナリオの発生手法

○園田慶祐・堀智晴

15：15 B33 *

Kaバンド雲レーダー等のマルチセンサーで
捉えた積乱雲の生成・発達過程

中北英一・○新保友啓・大東忠保・山口弘誠

15：45 B34

フェーズドアレイを用いたゲリラ豪雨の渦管
消長の詳細解析

○中北英一・高尾充政・新保友啓・山口弘誠・
中川勝広

16：00 B35

APHRODITE 日降水量グリッドデータの地
形性降雨と極端降水の再現性に対する気候値
の効果

○安富奈津子・田中賢治・田中茂信

16：15 B36

アンサンブル情報の時間変化を用いた線状降
水帯豪雨の予測手法の検討

○山口弘誠・黒田奈那・中北英一

16：30 B37

2018年6月29日に米原で発生した竜巻被
害の調査報告

西嶋一欽

16：45 B38

エルニーニョ・南方振動の持続性が大西洋
ニーニョ現象の発生に及ぼす影響

○時長宏樹・Ingo RICHTER・小坂優

17：00 B39

衛星観測と地上観測に基づくXCO₂データ
の差異の解析

井口敬雄

<休 憩>

A
会場

B
会場

20
日
午後

C
会場

D
会場

E
会場

ポ
ス
タ
ー
セ
ッ
シ
ョ
ン

（注）名前の前の○は発表者を、発表番号右上の*は、優秀発表賞対象者を示します。

A 会場	一般講演……大気・水(Ⅱ) 2月19日(火) 14:15~19:00		C 会場 セミナー室4+5	
	14:15 C01 Water, Water Everywhere, / Nor Any Drop to Drink- An Overview of Drinking Water Crisis of Southwestern Coastal Villages of Bangladesh ○Gulsan Ara PARVIN・Rajib SHAW・Rajarshi Das GUPTA・Hajime NAKAGAWA	16:45 C10* Use Constant-head Injection Test for In-Situ Estimation of Hydraulic Conductivity in Gravel Bed Rivers. ○XIAO ENBANG・Yasuhiro TAKEMON・Sohei KOBAYASHI・Tetsuya SUMI		
B 会場	14:30 C02* 天竜川における出水履歴が河床の水質機能に及ぼす影響 ○高橋真司・兵藤誠・角哲也・竹門康弘	<休憩>		
	14:45 C03* 重力観測衛星 GRACE を用いた全球陸域水循環モデルの改良 ○塩尻大也・田中賢治・田中茂信	17:15 C11* 粒子・流体間の力学連成を考慮した多数の礫粒子輸送の数値計算 ○柳博文・牛島省・鳥生大祐		
C 会場 19日午後	15:00 C04* Characteristics of Water Resources Salinization Issues in Central Asia ○Temur KHUJANAZAROV・Kenji TANAKA・Kristina TODERICH・Shigenobu TANAKA	17:30 C12* Numerical Simulation of Bed Deformation of Braided River Considering Sediment Sorting ○SHAMPA・Yuji HASEGAWA・Hajime NAKAGAWA・Hiroshi TAKEBAYASHI・Kenji KAWAIKE		
	15:15 C05* 作物成長過程を考慮したダム灌漑用水補給の高度化に関する研究 ○齋藤宏樹・堀智晴	17:45 C13* Better Topographical Data Gives a Better Simulation of Sediment Transport: A Step towards the Refinement of Terrain Elevations ○Rocky TALCHABHADEL・Hajime NAKAGAWA・Kenji KAWAIKE		
D 会場	<休憩>			
	15:45 C06* The Impact of Climate Change on Water Resources in the Kiso River Basin Using 1km Resolution Data ○Maochuan HU・Kenji TANAKA・Temur KHUJANAZAROV・Shigenobu TANAKA・Takahiro SAYAMA	18:00 C14* Sensitivity Analysis of the Flow and Sediment Transport of Vietnamese Mekong Delta Using Coupled Telemac-2D and Sisyphe ○Doan Van BINH・Sameh KANTOUSH・Tetsuya SUMI・Nguyen Thi Phuong MAI		
E 会場	16:00 C07* d4PDF(RCP8.5, SST アンサンブル)を用いた日本の将来の水文循環に及ぼす影響の不確実性評価 正木隆大	18:15 C15 流域スケールの降雨土砂流出モデルを用いた土石流発生の予測 ○藤田正治・鈴木豪太・山野井一輝		
	16:15 C08* Comprehensive Performance Evaluation of LID Practices: Case Study in Tianjin, China ○Yu LI・Kenji TANAKA・Maochuan HU・Shigenobu TANAKA	18:30 C16* Prediction of Morphological Changes for the Effective Riverbank Protection Measures using 2D Numerical Model: A Case of Uji River, Japan ○Saroj KARKI・Hajime NAKAGAWA・Kenji KAWAIKE・Masakazu HASHIMOTO		
ポ ス タ ー セ ッ シ ョ ン	16:30 C09* Influence of Physical Clogging on Infiltration and Groundwater Recharge ○Dina ELLEITHY・Sameh A. KANTOUSH・Tetsuya SUMI	18:45 C17* 天竜川の砂州における湧水流路の形成過程と生息場機能 ○山崎弘美・竹門康弘・鳥居高明・高橋真司・兵藤誠・角哲也		
	(注) 名前の前の○は発表者を、発表番号右上の*は、優秀発表賞対象者を示す。			

一般講演……大気・水（Ⅳ） 2月20日（水）9：15～12：00	C 会場 セミナー室4＋5
-------------------------------------	------------------

9：15 C18＊ 津波遡上計算のためのSGS建物抗力モデルの開発 ○福井信気・森信人・Katsuichiro GODA	10：45 C23 打上げ・越波統合算定モデルの適用性拡張に関する研究 ○由比政年・間瀬肇・平石哲也・川崎浩司・金洙列・楳田真也・水谷英朗
9：30 C19＊ 沿岸域を対象とした津波波高の確率論的評価及び不確実性解析 ○宮下卓也・森信人	11：00 C24 Toppling Failure by Wave Impact at Northern Part of Bengkalis Island Indonesia ○Noerdin BASIR・Hiraishi TETSUYA
9：45 C20 台風21号 Jebi 高潮の予測不確実性について ○森信人・竹見哲也	11：15 C25＊ 日本周辺の極端波浪の長期解析と気象要因 ○千綿蒔・森信人・志村智也・久保田博貴
10：00 C21＊ Physical Modeling of Coastal Protection by Mangrove Trees against Storm Waves ○Che-Wei CHANG・Nobuhito MORI・Naoki TSURUTA・Kojiro SUZUKI	11：30 C26 Global Track Analysis of d4PDF Tropical Cyclones ○Adrean WEBB・Tomoya SHIMURA・Nobuhito MORI
10：15 C22＊ Downscaling of Coastal Current System on Ibaraki Coast ○Josko TROSELJ・Yuki IMAI・Junichi NINOMIYA・Nobuhito MORI	11：45 C27 ラングミュア乱流の観測（その二） ○吉川裕・馬場康之・水谷英朗・久保輝広

<休憩>

A
会場

B
会場

C
会場

20
日
午前

D
会場

E
会場

ポ
ス
タ
ー
セ
ッ
シ
ョ
ン

（注）名前の前の○は発表者を、発表番号右上の＊は、優秀発表賞対象者を示します。

A 会場	一般講演……大気・水（Ⅵ） 2月20日（水）14：00～17：15		C 会場 セミナー室4＋5	
	14：00 C28 流木の挙動安定性と橋梁閉塞の関係に関する研究 ○山上路生・岡本隆明	15：45 C34 木製可動型津波減勢工の効果に関する基礎的実験 ○平石哲也・飯干歩・濱田英外		
B 会場	14：15 C29 * 水制群を設置した蛇行流路の変動に関する研究 ○中村隆志・中川一・川池健司	16：00 C35 河道外貯留方式ダムの類型化及びその防災・環境への効果に関する研究 ○角哲也・石塚淳也・小林草平・竹門康弘		
	14：30 C30 * 木津川の河床地形管理における伝統的河川工法「聖牛」の活用 ○田住真史・小林草平・角哲也・竹門康弘	16：15 C36 Reservoir Sedimentation at Wadi System：Challenges and Management Strategies ○Mohamed SABER・Sameh KANTOUSH・Tetsuya SUMI・Tahani ALHARRASI		
C 会場 20日午後	14：45 C31 * バンダル型水制の透過／不透過部の割合が浮遊砂の挙動に与える影響 ○対修一・中川一・川池健司	16：30 C37 Monitoring of Flash Floods Using Image-Based Techniques ○Mahmood M. AL MAMARI・Sameh A. KANTOUSH・Sohei KOBAYASHI・Masafumi TAZUMI・Yasuhiro TAKEMON・Tetsuya SUMI		
	15：00 C32 * ダムの常用洪水吐ゲートの機能低下に伴う洪水リスク評価に関する検討 ○高田翔也・角哲也	16：45 C38 膨大なアンサンブル情報を用いた降水量極値の確率分布の将来変化 田中茂信		
D 会場	15：15 C33 * 河床攪乱指標を用いたダム建設影響の評価手法の提案 ○波多野圭亮・竹門康弘・角哲也	17：00 C39 洪水防御に係る2017年ドイツ水管理法（Wasserhaushaltsgesetz）改正の意義 重本達哉		
	<休 憩>			
E 会場				
	ポスターセッション			

（注）名前の前の○は発表者を、発表番号右上の＊は、優秀発表賞対象者を示します。

一般講演……地盤（Ⅰ） 2月19日（火）14：15～17：30	D会場 木質ホール
------------------------------------	--------------

14：15 D01＊

日本海側の地すべり密集地帯における深部地下水環境

○西山成哲・千木良雅弘・鈴木浩一・渡部直喜

16：00 D07＊

花崗岩とホルンフェルスの斜面における土層の形成および輸送と土層の発達の時空間変化

○渡壁卓磨・松四雄騎・松崎浩之

14：30 D02

季節積雪層の形成地帯における斜面災害と将来予測

松浦純生

16：15 D08＊

過度な森林資源の収奪を受けた山地流域における斜面の削剥履歴と土層の安定性の遷移：滋賀県田上山地における定量的モデリング

○太田凌嘉・松四雄騎

14：45 D03＊

On the Pre-failure Shear Behavior of Clayey Soil Taken from a Rainfall-induced Landslide

○Chengrui CHANG・Gonghui WANG

<休憩>

15：00 D04＊

Geology and Geomorphology of the 2017 Xinmo Landslide and its Preceding Gravitational Slope Deformation at Maoxian, Sichuan, China

○Siyuan ZHAO・Masahiro CHIGIRA

16：45 D09

土層の空間分布計算に基づく斜面崩壊予測の精度・確度の検証

松四雄騎

<休憩>

17：00 D10

土砂災害発生位置予測の一手法

齊藤隆志

15：30 D05＊

方解石の溶解に始まる砂岩の連鎖的風化

○松澤真・千木良雅弘

17：15 D11＊

An Integrated System to Support Decision Makers in the Landslide Hazard Early Warning in Halong City-Vietnam

○Duc Ha NGUYEN・Takahiro SAYAMA・Kaoru TAKARA・Kyoji SASSA

15：45 D06＊

穿入蛇行河川の形成と流域斜面の土砂生産の関係性に関する実証的研究 ―四万十川中流域を対象として―

辻哲也

A会場

B会場

C会場

D会場

19日午後

E会場

ポスターセッション

一般講演……地盤（Ⅱ）

2月20日（水）9：15～12：00

D 会場

木質ホール

9：15 D12

平成30年7月豪雨時に発生した真備町の堤防破堤について

王功輝

10：45 D17

安全で長寿命化に資する安定型処分場の試験・設計方法に関する研究

○勝見武・山脇敦・Purbashree SARMAH・
長谷川貴史・高井敦史・土居洋一・大嶺聖・
坂口伸也

9：30 D13 *

Development of Geoinformatic Database
Integrating River-banks with Subsurface and
Its Application to Seepage Induced Disasters○Xing YINAN・Mamoru MIMURA・
Yosuke HIGO

11：00 D18

A New Method for the Prediction of Shallow
Landslide Occurrence Based on the Tilting of
Slope Surface

○Jiren XIE・Taro UCHIMURA・Gonghui WANG

9：45 D14 *

Centrifugal Modelling of Seepage-induced
Failure in Undercut Slope○Kun FANG・Thirapong PIPATPONGSA・
Takafumi KITAOKA・Hiroyasu OHTSU

11：15 D19 *

Evaluation of Multiple Two-hinge Precast
Arch Culvert Seismic Capacity Through
Elastoplastic Numerical Simulation○Budi Luhur DARMANTO・
Yasuo SAWAMURA・Kiyoshi KISHIDA・
Makoto KIMURA

10：00 D15 *

Seismic Stability of Earthen Embankment
Subjected to Steady State Seepage and Rapid
Drawdown○Gautham ADAPA・Yuki TAKADA・
Kyohei UEDA・Ryosuke UZUOKA

11：30 D20 *

トンネル上部に地山改良を施した小土被りト
ンネルの地震時挙動に関する遠心模型実験

○小西魁・澤村康生・岸田潔・木村亮

10：15 D16 *

X線CT画像による岩盤不連続面内のグラウ
ト充填状況の分析○井関恭輔・中島伸一郎・木戸隆之佑・吉津洋一・
岸田潔

11：45 D21

地震地すべり研究の最新の動向

○東畑郁夫・王功輝

<休憩>

A
会場B
会場C
会場D
会場20
日
午前E
会場ポ
ス
タ
ー
セ
ッ
シ
ョ
ン

一般講演……地盤（Ⅲ） 2月20日（水）14：00～15：15	D 会場 木質ホール
--	-----------------------

14：00 D22 大井川上流、赤崩における山向き小崖の内部構造、及び GPS 観測による 18 年間の変位量 ○横山修・千木良雅弘・目代邦康	14：45 D25 紀伊山地中央部に分布する四万十付加体における重力斜面変形と深層崩壊の形成要因について ○荒井紀之・千木良雅弘
14：15 D23 Characteristics and Triggering Factors of Earthquake-induced Landslides of Pyroclastic Fall Deposits during 1968 Tokachi-Oki Earthquake, Hachinohe, Japan ○Sixiang LING・Masahiro CHIGIRA	15：00 D26 大規模斜面崩壊に認められる四万十付加体の地質構造制約 木村克己
14：30 D24 伊豆大島および関東における地質時代の斜面崩壊：地震時流動性地すべりポテンシャル評価に向けて ○鈴木毅彦・千木良雅弘	

オーガナイズドセッション〈拠点間連携共同研究〉 2月20日（水）15：45～17：00	D 会場 木質ホール
--	-----------------------

〈拠点間連携共同研究〉 15：45 D27 地震による被災から回復までの個人世帯生活被災度時間関数の構築 ○岡田成幸・中嶋唯貴・牧紀男・瀬瀬一起	16：30 D30 液状化現象を含む地盤の非線形性を考慮した表層地盤増幅率の評価 ○田中宣多・Gautham ADAPA・澤田凱人・上田恭平
16：00 D28 地震リスク評価における不確実性の分布について ○佐伯琢磨・西嶋一欽・松島信一	16：45 D31 沈み込み帯巨大地震の強震動生成域からの地震動と既存予測式の比較 木内亮太・○宮澤理稔・瀬瀬一起
16：15 D29 地震応答解析における技術者の違いによるパラメータのばらつきの影響 ○一井康二・植村一瑛・生頼直樹・兵頭順一	

（注）名前の前の○は発表者を、発表番号右上の＊は、優秀発表賞対象者を示します。

A 会場	一般講演……火山と航空 2月19日(火) 14:15～15:30	E 会場 S-519D
B 会場	14:15 E01 大規模噴火時の航空交通の危機管理体制構築 に向けて 大西正光	
C 会場	14:30 E02 桜島大規模噴火の発生予測 井口正人	
D 会場	14:45 E03 CARATS Open Data に基づいた桜島大規模噴火の航空輸送への影響分析 竹林幹雄	
E 会場	15:00 E04 航空火山情報提供のあり方に関する考察 ー御嶽山・阿蘇山の事例から 小野寺三朗	
ポスターセッション	15:15 E05 * 大規模噴火時における航空危機管理の意思決定手順 ○蔵原これほる・大西正光	

一般講演……総合防災（Ⅰ）
2月19日（火）15：45～19：00

E 会場
S-519D

15：45 E06 *

Factors Affecting Business Recovery after
Disaster : Evidence from the 2011 Great East
Japan Earthquake

○Huan LIU・Hirokazu TATANO

16：00 E07 *

Study on the Spatial Distribution
Characteristics of Natech Events in United
States

○Xiaolong LUO・Ana Maria CRUZ

16：15 E08 *

Information Gaps and Challenges in
Indonesian Disaster Early Warning System

○Haris RAHADIANTO・
Subhajyoti SAMADDAR・Hirokazu TATANO

16：30 E09 *

Disaster Risk Communication in Japan:
Increasing Preparedness and Maintaining the
Appeal for Tourists

Giuseppe ALIPERTI

16：45 E10 *

Comprehensive Understanding of Reasons of
People Not Evacuating in 2018 West Japan
Flood.

Guolu JIN

<休 憩>

17：15 E11 *

Development of Screening Methodology
for Natural Hazard Characterization and
Vulnerability Assessment of Exposed
Industrial Installations

○Maria Camila SUAREZ-PABA・
Ana Maria CRUZ-NARANJO

17：30 E12

Informing and Involving the Flood Exposed
Community in Fulcharri Upazila at
Ghaibandha District Bangladesh on Flood
Risks and Mitigation

○Reazul AHSAN・Hajime NAKAGAWA・
Kenji KAWAIKE・Masakazu HASHIMOTO・
Md. Munsur RAHMAN・Mashfiqus SALEHIN・
KM Nabiul ISLAM・Shammi HAQUE

17：45 E13 *

Disaster Management for Compound
Disasters: Research Trends and Gaps

○Hyejeong PARK・Ana Maria CRUZ

18：00 E14 *

Characterization and Categorization of
Recovery with Respect to the BBB : a Study
on Cyclone Aila Recovery in Bangladesh

○Md Shibly SADIK・Hajime NAKAGAWA・
Rezaur RAHMAN・Rajib SHAW・
Kenji KAWAIKE・Gulsan Ara PARVIN

18：15 E15 *

Communicating Risk in a Multi-stakeholder
Disaster Risk Management System :
Challenges and Insights

Lexin LIN

18：30 E16

The Implementation Science for Disaster Risk
Reduction : An Appraisal

○Subhajyoti SAMADDAR・Hirokazu TATANO

18：45 E17 *

土地利用変化の影響評価を目的とした湿潤熱
帯流域の水文モデリング

○山本浩大・佐山敬洋・Apip

A
会場

B
会場

C
会場

D
会場

E
会場

19
日
午後

ポ
ス
タ
ー
セ
ッ
シ
ョ
ン

A 会場	一般講演……総合防災（Ⅱ） 2月20日（水）9：15～12：00		E 会場 S-519D	
	9：15 E18＊ 緊急支援物資拠点の運用計画に関する考察 ー高知県四万十町を例にー ○西脇文哉・畑山満則・大西正光・伊藤秀行	10：45 E23＊ 主体性構築を目指す防災教育のパラダイムシフト ○中野元太・矢守克也		
B 会場	9：30 E19＊ 児童の主体性の構築を目指した防災マップの作成に関する研究 ー四万十町興津地区を事例としてー ○岡田夏美・矢守克也	11：00 E24 災害対応時のスイッチ機能の検討に対する地域実践を通じた考察 ○竹之内健介・矢守克也・千葉龍一		
	9：45 E20＊ キーワード抽出を用いた地域防災計画における災害廃棄物管理の分析 ○劉英楠・畑山満則	11：15 E25 地域医療 BCP 分野の激甚災害に対する取り組みと課題 ○下戸学・大鶴繁・趙晃済・堤貴彦・相田伸二・杉山治・倉田真宏・牧紀男		
C 会場	10：00 E21＊ 「南海トラフ地震に関連する情報」に対する地区防災計画についての研究 ○杉山高志・矢守克也	11：30 E26 拡散波動場理論に基づくイタリア・アマトリーチェの地盤震動特性 ○長嶋史明・川瀬博		
	10：15 E22＊ 避難訓練アプリ「逃げトレ」の活用法に関する研究 ○李フシン・矢守克也	11：45 E27 ニューラルネットワークを使った災害イベント堆積物の逆解析 ○成瀬元・福田壮二郎・Rimali MITRA		
D 会場				
E 会場	<休憩>			
20日午前				
ポスターセッション				

(注) 名前の前の○は発表者を、発表番号右上の＊は、優秀発表賞対象者を示します。

一般講演……総合防災（Ⅲ） 2月20日（水）14：00～15：15	E 会場 S-519D
--------------------------------------	----------------

A
会場

B
会場

C
会場

D
会場

E
会場

20
日
午後

ポ
ス
タ
ー
セ
ッ
シ
ョ
ン

14：00 E28

土地利用・建築規制等の対策に着目した洪水
リスク管理の学際的検討

○中村仁・佐山敬洋・大西正光・清水美香・野原大督・
Florence LAHOURNAT

14：15 E29

地方自治体と連携した災害時における市民参
加型ドローンクライシスマッピングの現状と
課題

○古橋大地・畑山満則

14：30 E30

近年の豪雨災害における避難「成功事例」の
分析

矢守克也

14：45 E31

災害対応時の情報処理の標準化に関する一考
察

○畑山満則・河越基

15：00 E32

教育現場に導入しやすい防災教育プログラ
ムの提案と実践事例

○友清衣利子・蔵原正敏・鈴木佐代・丸山敬・
矢守克也

（注）名前の前の○は発表者を、発表番号右上の＊は、優秀発表賞対象者を示します。

A 会場	ポスターセッション 2月19日(火) 9:30 ~ 19:00 20日(水) 9:15 ~ 15:00 ポスターセッション・コアタイム 2月20日(水) 12:00 ~ 14:00		ハイブリッドスペース	
B 会場	P01 * 2018年大阪府北部の地震がもたらした防災意識の変化 ○山村紀香・三宅雄紀・片尾浩・坂上啓		P08 * 三次元的基盤形状をもつ地盤による地震動増幅特性の系統的な理解の試み ○田中裕貴・後藤浩之・澤田純男	
	P02 大阪北部地震におけるモバイル空間統計を使った通常時と地震発生時の人口変化の分析 ○本多郁・畑山満則		P09 * 空間マッピングにおける情報飽和度の定量化 ○Anirban CHAKRABORTY・後藤浩之	
C 会場	P03 * 南海トラフ地震による高知県南国市における主要な病院の建物被害予測に基づく影響評価 ○増田竣介・佐伯琢磨・松島信一・西嶋一欽・河野裕哉		P10 エチオピア・アフール凹地・ダバフリフト南部の比抵抗構造 ○吉村令慧・石川直人・Teshaye KIDANE・Ameha A. MULUNEH・加々島慎一・北川桐香・望月伸竜	
	P04 KiK-net 益城観測点におけるレイリー波位相速度と見かけ比抵抗の同時逆解析 ○地元孝輔・山中浩明・是永将宏・津野靖士		P11 * 深層学習を用いた周辺の観測記録に基づく地震動推定手法の開発 ○大武亮太・後藤浩之・澤田純男	
D 会場	P05 斜面崩壊によって励起された地震動の特徴の整理 ○土井一生・前田拓人・飯高隆		P12 * The Slip Model of M5.5 Earthquake Using SouthAfrican Mining Network at Very Close Distance 安富達就	
	P06 Dynamic Analysis on Rupture Direction of Branching Fault ○Hiroyuki GOTO・Daiki YAMASHITA		P13 連続波形解析に基づく九州における遠地地震誘発研究の再検討 ○宮澤理稔・Emily BRODSKY	
E 会場	P07 引張破壊を考慮した盛土の地震時破壊現象の再現解析 ○澤田純男・原田陽弓		P14 南海トラフ巨大地震の予測高度化を目指したフィリピン海スラブ周辺域の構造研究(5) ○澁谷拓郎・三浦勉・長岡愛理・小松信太郎・山崎健一・山下裕亮・井口正人・為栗健・園田忠臣・大倉敬宏・吉川慎	
	ポスターセッション			

(注) 名前の前の○は発表者を、発表番号右上の*は、優秀発表賞対象者を示します。

P15

内陸活断層への準周期的な応力擾乱の地震発生時期に対する影響

野田博之

P16

地震波干渉法で探る地震発生と水の関係(2)

片尾浩

P17 *

Crustal Deformation in the San-in Shear Zone Before and After the 2011 Tohoku-oki Earthquake Inferred from a Dense GNSS Network

○Angela MENESES-GUTIERREZ・Takuya NISHIMURA

P18 *

Slow-earthquake Segmentation as a Barrier to the Rupture of the 2011 Tohoku-Okii Earthquake

○Tomoaki NISHIKAWA・Takanori MATSUZAWA・Kazuaki OHTA・Naoki UCHIDA・Takuya NISHIMURA・Satoshi IDE

P19 *

重力異常データの DMA 解析に基づく地震活動の推定

○菊地和平・深畑幸俊・清野健

P20 *

海溝型巨大地震サイクル後半における東北日本前弧域の沈降メカニズム

○篠島僚平・芝崎文一郎・岩森光・西村卓也・中井仁彦

P21 *

S 波反射法とレシーバー関数解析から推定された近畿地方中北部における地震学的構造

○加藤慎也・飯尾能久・澁谷拓郎・片尾浩・澤田麻沙代・富阪和秀

P22 *

海溝型巨大地震サイクルにおける内陸断層のクーロン応力変化

○水戸川司・西村卓也

P23 *

ヒクラング沈み込み帯における海底圧力計の解析

○井上智裕・村本智也・稲津大佑・伊藤喜宏・日野亮太・太田和晃・鈴木秀市

P24 *

Dynamic Triggering of Low Frequency Tremor Revealed by the OBS Array of Arrays near the Japan Trench

○Shukei OHYANAGI・Kazuaki OHTA・Yoshihiro ITO・Ryota HINO・Yusaku OHTA・Ryusuke AZUMA・Masanao SHINOHARA・Kimihiro MOCHIZUKI・Toshinori SATO・Yoshio MURAI

P25 *

GNSS データの階層クラスタ解析に基づく台湾島のテクトニクスの研究

○高橋温志・橋本学・胡植慶

P26 *

EnKF を用いた豊後水道長期的 SSE 発生域の摩擦特性及びすべり発展推定

○藤田萌実・西村卓也・平原和郎・宮崎真一

P27

精密水準測量による桜島火山の地盤上下変動(2017 年 11 月～2018 年 11 月)

○山本圭吾・松島健・吉川慎・井上寛之・園田忠臣・瀧下恒星・仲井一穂・内田雅喜・大柳諒・神谷義之介・大倉敬宏

P28 *

メラピ型火砕流の準リアルタイムハザード情報作成システムの構築

○下村誠・井口正人・中道治久・宮本邦明

P29

Constraining the Occurrence of Volcanic Lightning at Sakurajima Using a Multidisciplinary Monitoring Network

Alec BENNETT・Corrado CIMARELLI・Damien GAUDIN・○Matthias HORT・Masato IGUCHI・Daisuke MIKI・Caron VOSSSEN

A
会場

B
会場

C
会場

D
会場

E
会場

ポ
ス
タ
ー
セ
ッ
シ
ョ
ン

(注) 名前の前の○は発表者を、発表番号右上の*は、優秀発表賞対象者を示します。

A 会場
B 会場
C 会場
D 会場
E 会場
ポ ス タ ー セ ッ シ ョ ン

P30

都市気象 LES モデルを用いた大気境界層を突破する熱的上昇流の発見と渦管解析

○山口弘誠・小西大・土橋知紘・中北英一

P31

京都市近郊における 2018 年夏季・秋季における気象観測結果

堀口光章

P32 *

日本域春季における降水と総観規模条件の統計解析

○長谷健太郎・竹見哲也

P33 *

Landslide Hazard Assessment in Western Japan Using Logistic Regression Analysis with Hydrometeorological Factors

○Ying-Hsin WU・Eiichi NAKAKITA

P34

用水路・側溝での水難事故発生の危険性に関する研究

○戸田圭一・岡本隆明・岡宗佑・當麻泰史

P35

平成 30 年 7 月洪水における江の川下流部の水害防備林の倒伏に関する考察

○青木健太郎・藤田正治

P36 *

流木が土石流の流動特性に与える影響に関する基礎的実験

○山本泰己・川池健司・中川一

P37 *

土砂・洪水氾濫を考慮した流域土砂流出モデルと赤谷川への適用

○鈴木豪太・藤田正治・山野井一輝

P38 *

渓流水生生物生息場の土砂流出に伴う短期・長期変動

○村上秀香・藤田正治

P39 *

Stability of a New Type Armor Protection Unit in High Waves

○Weiyi HUANG・Tetsuya HIRAISHI

P40

田辺中島高潮観測塔において 2018 年夏期に観測された強風，高波浪について

○馬場康之・久保暉広

P41 *

Tsunami Evacuation Model and Applicability of Platform-type Tsunami

○Keita TAMARI・Tetsuya HIRAISHI

P42

小渋ダム下流における排砂バイパス運用による土砂の堆積と浸食

○小林草平・角哲也・小柴孝太・Sameh KANTOUSH・竹門康弘

P43 *

Role and Challenges of Institutional Mechanisms for Flood Control in Transboundary Rivers: A Case of Koshi River in Nepal and India

○Suchana ACHARYA・Tomoharu HORI

P44 *

トリニティ川における RFID を用いた砂礫の追跡による土砂還元事業の評価

○狩野幹太・David GAEUMAN・角哲也・竹門康弘

P45

多波長センサーによるアラル海流域における灌漑実態の広域モニタリング

○峠嘉哉・Mbugua Jacqueline MUTHONI・田中賢治・Temur KHUJANAZAROV

P46

淀川におけるアユの流下仔魚と流量との関係

○瀬口雄一・竹門康弘・角哲也

P47 *

Bedrock Groundwater Responses to Rainfall in a Deformed Slope Affected by Deep-seated Landslide

○Cristobal PADILLA・Ken' ichirou KOSUGI・
Tetsushi ITOKAZU・Gengo YOSHIMURA・
Naoki IMAMORI・Yuki OKUYAMA・

P54

足柄平野と東京湾西岸部における地震観測点の1次元浅部深部統合地盤モデル

○津野靖士・山中浩明・地元孝輔・宮腰寛之・
三宅弘恵・高井伸雄・重藤迪子・神野達夫・佐藤浩章・
瀬戸一起・松島信一・川瀬博

P48 *

Effect of Valley Shape on Temporal Change Characteristics of Bars Under Unsteady Flow Condition

○Mauricio Andrades PAIXAO・
Hiroshi TAKEBAYASHI・Masaharu FUJITA・
Masato KOBIYAMA

P49 *

Seismic Site Response of a Large Deep-seated Landslide in Tokushima, Japan

○Ning MA・Toshitaka KAMAI・
Gonghui WANG・Issei DOI・Masahiro CHIGIRA

P50

Control of Huge Faults on Rock Mass Structure : Implications for the Landslides Triggered by the 2008 Wenchuan Earthquake

○Chao HUANG・Yusheng LI・Chunhao WU・
Shujian YI・Kai LIU・Gonghui WANG

P51

Disaster Narratives through Material Culture Florence LAHOURNAT

P52 *

Analysis of Recovery of Production Capacity of Natural Hazards : Case Study of 2016 Kumamoto Earthquakes

○Yalin ZHANG・Hirokazu TATANO

P53 *

自主避難のための地域コミュニティで運用できるIoT土砂災害関連情報計測システム

○上山遥路・畑山満則・山内英之・吉田信明

A
会場

B
会場

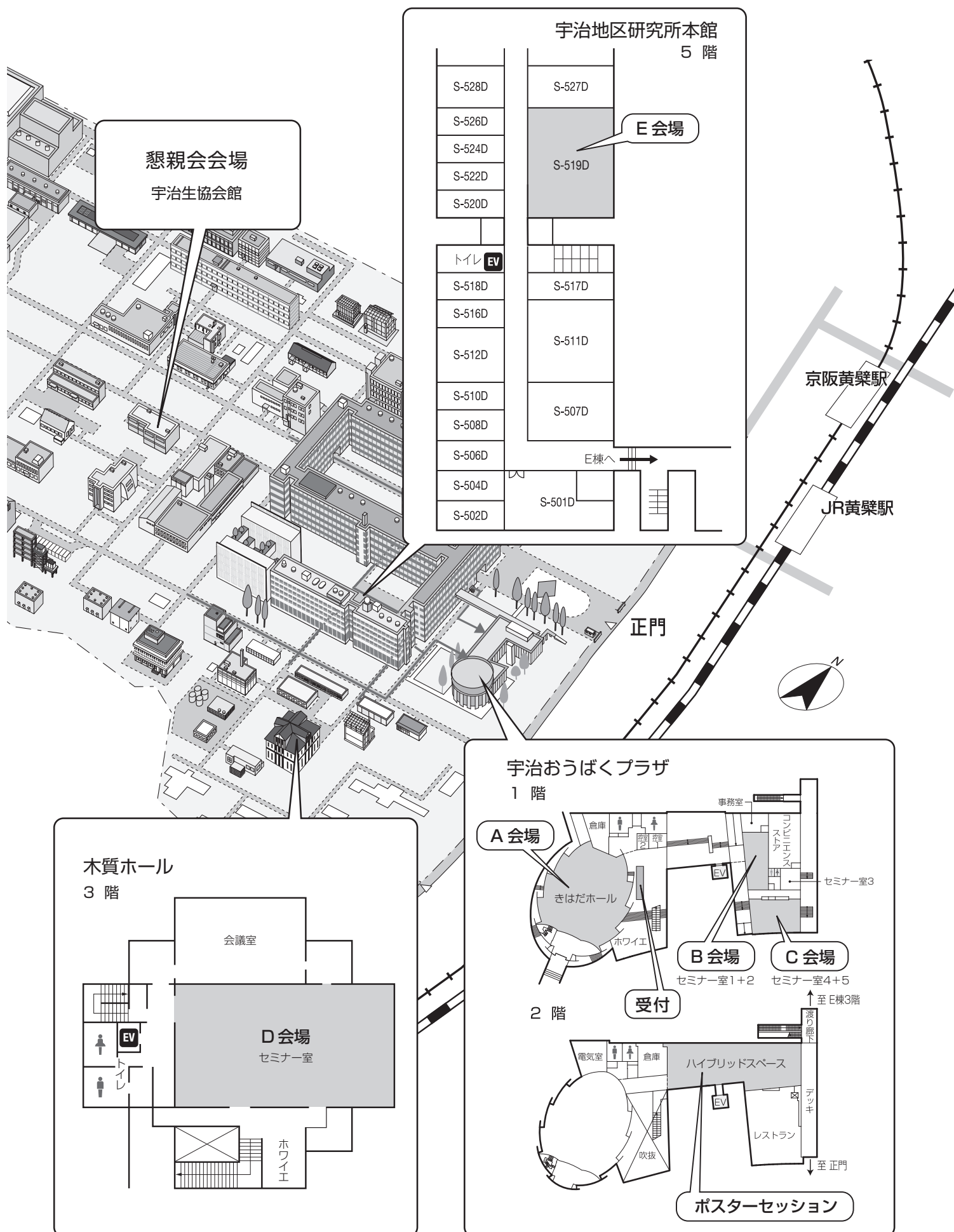
C
会場

D
会場

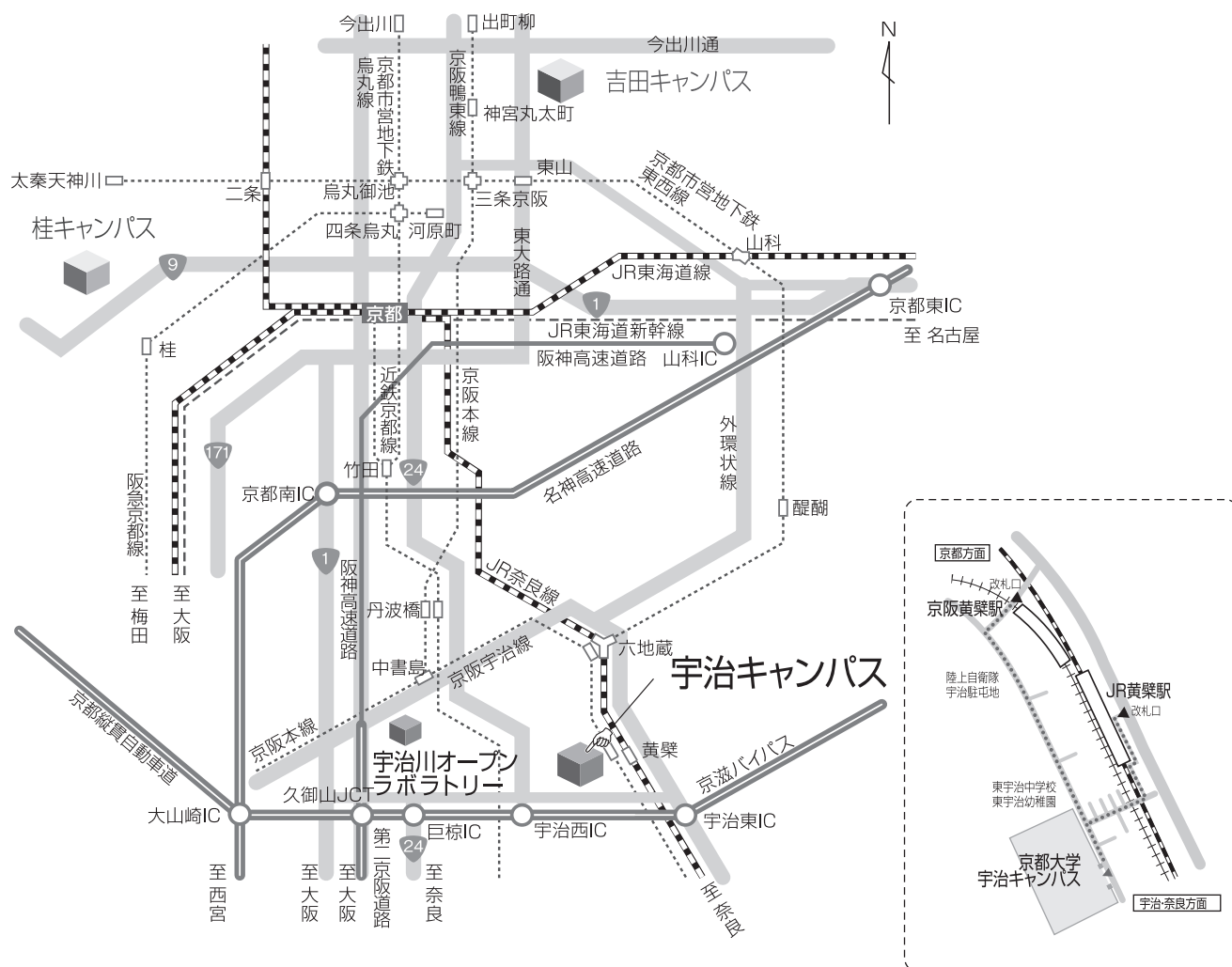
E
会場

ポ
ス
タ
ー
セ
ッ
シ
ョ
ン

(注) 名前の前の○は発表者を、発表番号右上の*は、優秀発表賞対象者を示します。



会場へのアクセス



～ 優秀発表賞授賞式・懇親会のご案内 ～

日時：2019年2月20日(水) 18:00～20:00

場所：宇治生協会館 (25ページの会場案内図をご参考ください)

[教職員・学生の皆さまへ]懇親会の会場への入場には、チケットが必要です。忘れずにご持参ください。

[問合先] 京都大学防災研究所 広報出版企画室 0774 (38) 4640 E-mail: dpri-ksk@dpri-kyoto-u.ac.jp

[後援] 一般財団法人 防災研究協会